

令和7年度 学校努力点

1 令和7年度 名古屋市学校教育「学びの方針」

学習指導要領、「ナゴヤ子ども応援大綱」及び「名古屋市教育振興基本計画」を受け、令和7年度名古屋市学校教育「学びの方針」が次のように定められた。

ナゴヤ学びのコンパス（学びの方針）

実現したい市民の姿

自由な市民として互いに認め合い、共に社会を創造する

目指したい子どもの姿

ゆるやかな協働性の中で自律して学び続ける

重視したい学びの姿

- ・ 自分に合ったペースや方法で学ぶ
- ・ 多様な人と学び合う
- ・ 夢中で探究する

どの学校園でも大人が大切にしたいこと

子どもは有能な学び手であると理解し、子どもの学びに伴走する

- ・ 子ども一人一人の思いや願いを尊重する
- ・ 子どもと対話する
- ・ 子どもの自分なりのチャレンジを大事にする

2 浄心中学校 校訓

健康で明るく 勤勉で楽しく 聡明で正しく

3 令和7年度 浄心中学校努力点

ともに笑い ともに学び ともに生きる
ーみんなで、陽だまりの笑顔！ー

(1) 令和7年度浄心中学校努力点設定の理由

令和6年度の成果

令和6年度は、上記努力点の設定3年目として「笑顔で学ぶ」をキーワードに、生徒の「主体性」を高め「笑顔」を引き出すことを重視して実践を行った。「主体性」を高める実践として、総合的な学習の時間に探究的な学習を行ったり、生徒会活動を中心に校則の改定を行ったりした。また、校内フリースクールを設置し、教室に入れない生徒が自分のペースで学ぶことができるようにした。

学校評価の結果（「**そう思う**」「**どちらかといえばそう思う**」の回答結果）

- ・ 生徒アンケート
 - ㊦ 笑顔で学校生活を過ごせている→【97%】
 - ㊧ 学校生活が楽しい→【96%】
 - ㊨ 行事に積極的に参加している→【98%】
- ・ 保護者アンケート
 - ㊩ 子どもは行事に積極的に参加している→【96%】
- ・ 教職員アンケート
 - ㊪ 行事を通して生徒の自尊感情や主体性を高める工夫をしている→【100%】

上記の結果から、生徒の「主体性」を高め、「笑顔」を引き出す令和6年度の取り組みは、一定の成果があったといえる。

令和6年度の課題

学校努力点に関する学校評価アンケートの結果、次のような回答を得た。

学校評価の結果（「**そう思わない**」「**どちらかといえばそう思わない**」の回答結果）

- ・ 生徒アンケート
 - ㊦ 先生に相談しやすい→【23%】
- ・ 保護者アンケート
 - ㊩ 学校が安心・安全で幸せな居場所になっている→【9%】
 - ㊨ 学校は生徒の主体性を尊重し、考える力を高められるよう努めている→【19%】
 - ㊦ 学校は、保護者の願いにこたえようと努めている→【19%】
- ・ 教職員アンケート
 - ㊩ 教育活動全般について、生徒や保護者の願いによく応えている→【8%】
 - ㊨ 教育活動を通して、生徒の他者を大切にすることが育っている→【15%】

㊩で、保護者の約10%は、「学校が安心・安全で幸せな居場所になっていない」と回答している。また、㊨では、約20%の保護者が、「学校は生徒の主体性を尊重していない」と回答している。さらに、㊨と㊩を比較すると、「学校は、保護者の願いに応えている」という点において、保護者と学校の認識が乖離していることが分かる。

努力点に関する教職員の意見として、下記のようなものがあり、生徒の「主体性」を高めながら、自他を尊重し、互いに「笑顔」で学校生活を送ることができるよう、指導を継続する必要性がうかがえる。これは、令和7年度から名古屋市で本格的に始まる、キャリア教育と密接な関係がある。

努力点に関する教職員の意見（育てたい生徒像、力）

- ・ キャリア教育の観点を取り入れて、自他を尊重し、主体的に生きる力。
- ・ 主体的に考えられる生徒。
- ・ 将来を見通し、今何をすべきか判断できる力。
- ・ 権利だけを主張するのではなく、「主体的」とはどのようなことかを考えられる生徒。
- ・ 他者とよい関係を築くといった社会性。

令和7年度浄心中学校努力点のねらい

以上の点から、令和7年度は、「笑顔で生きる」をキーワードに、キャリア教育の基礎的・汎用的能力の育成に重点を置くことで生徒の「主体性」を高め、自他を尊重する態度を育む。そして、生徒が自分の生き方を前向きな態度で模索しながら、自他の「笑顔」を大切にして生きていけるよう支援する。

(2) 重点を置く活動

① 総合的な学習の時間を柱として「自己の生き方」を考えるキャリア教育

ブロック小学校と連携し、総合的な学習の時間に探究的な学習活動を行う。次に示す4つの活動を探究的な学習と定義し、各学年で授業を実践する。ブロック小学校でも同様の探究的な学習を行うことで、小中一貫した体系的な指導を実施する。各学年、年間を通して行うキャリア学習のテーマを1つ設定し、探究学習を行う。

＜探究的な学習過程＞

①見つける→②調べる→③解決する→④まとめる

＜各学年のテーマ＞

1年生：「福祉について学ぼう」

2年生：「自分らしい生き方について考えよう（職業）」

3年生：「修学旅行での学びを自分の進路選択に生かそう」

② 教室に入れない生徒が「自己の生き方」を見つめる校内フリースクールの運営

様々な理由で教室に入れない生徒が、校内の教室以外の居場所で学ぶことで、将来の社会的自立につながる力を伸ばせるよう、校内フリースクールを運営する。安心して学習できる環境を整え、保護者の協力を得ながら、個に応じた支援ができるようにする。

③ 生徒の「主体性」を育み、「笑顔」を引き出す生活指導

令和6年度に引き続き、生徒が「主体的」に考えられるよう支援方法を工夫する。さらに、生徒自身が校則の改定に取り組むことで「主体性」を高められるようにする。